

なぜお札が新しくなるの？

Point 1

日本銀行は、偽造防止対策を強化するために、定期的にお札のデザインを変えています。

Point 2

新札には、より細かい「すかし」や世界初の紙幣採用「ホログラム」などが使われています。

新札探検隊

2024年度の上半期（4月～9月）を目安として、
いよいよ日本円の新札が発行されます。
新しく生まれ変わる一万円券、五千円券、千円券の秘密を探ってみよう！

新一万円札 渋沢 栄一

（裏）東京駅 丸の内口駅舎

1914年、建築家の辰野金吾が設計した赤レンガ造りの東京駅舎。

（裏）藤の花

古事記や万葉集にも登場し、古くから親しまれているノダフジが描かれています。

新五千円札 津田 梅子

（裏）藤の花

古事記や万葉集にも登場し、古くから親しまれているノダフジが描かれています。

新千円札 北里 柴三郎

（裏）富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」

世界的にも有名な浮世絵師・葛飾北斎の代表作。大胆な構図は、海外の芸術にも影響を与えました。

「この社会あなたの税がいきている」

国の一般会計歳入額 内訳（令和5年度当初予算）

歳入総額 114兆3,812億円

その他の収入 9兆3,182億円 8.1%

印紙収入 9,760億円 0.9%

その他の税 2兆5,400億円 2.2%

たばこ税 9,350億円 0.8%

酒税 1兆1,800億円 1.0%

揮発油税 1兆9,990億円 1.7%

相続税 2兆7,760億円 2.4%

消費税 23兆3,840億円 20.4%

法人税（会社などの所得に対してかかる税） 14兆6,020億円 12.8%

所得税（個人の所得に対してかかる税） 21兆480億円 18.4%

租税及び印紙収入 69兆4,400億円 60.7%

公債金（国の借金） 35兆6,230億円 31.1%

国の一般会計歳出額 内訳（令和5年度当初予算）

歳出総額 114兆3,812億円

一般歳出 72兆7,317億円 63.6%

国債費 25兆2,503億円 22.1%

地方交付税交付金等 16兆3,992億円 14.3%

その他 13兆6,870億円 12.0%

経済協力費 5,114億円 0.4%

防衛関係費 10兆1,686億円 8.9%

文教及び科学振興費 5兆4,158億円 4.7%

公共事業関係費 6兆600億円 5.3%

社会保障関係費 36兆8,889億円 32.3%

歳入 税の種類を紹介

消費税・地方消費税

◎商品の販売やサービスの提供に対してかかる税金です。

◎納税するのは製造業やサービス業などの事業者ですが、負担するのは消費者等です。

所得税

◎個人の所得（収入から経費などを引いたもの）に対してかかる税金です。

◎所得が多くなるほど、税率が高くなります。

住民税（道府県民税・市町村民税）

◎住んでいる（会社がある）都道府県、市区町村に納める税金です。

◎道府県民税も市町村民税も一括して市区町村に納めます。

法人税

◎法人（会社）の所得に対してかかる税金です。

酒税

◎日本酒、ビールなど、お酒にかかる税金です。

◎製造者または輸入者が納税しますが、負担するのは消費者です。

歳出

社会保障関係費

◎国の歳出のうち、一番多く使われているのは、社会保障関係費です。

文教及び科学振興費

◎税金は私たちの学校教育や科学技術の発展のためにも役立てられています。

経済協力費

◎日本など経済力のある国々は、開発途上国との対話を進めながら、経済協力を進め、自立を支援しています。

地方交付税交付金等

◎地方公共団体（都道府県や市区町村）は、教育・警察・消防・環境衛生・生活保護などの公共サービスを行うため、地方税を集めています。

国債費

◎国の政策や事業には、国の経済状態や国民の生活のために、歳入が不足しているタイミングよく行わなければならないものもあります。そこで歳入の不足分を補うため、国は国債を発行して公債金（借金）収入を得ています。

●身近な財政支出（国と地方公共団体の負担額の合計額）

●公立学校の児童・生徒1人当たりの年間教育費負担額（令和2年）

約975,000円 小学生

約1,122,000円 中学生

約1,063,000円 高校生（全日制）

●私たちの生活や安全をまもるための警察・消防費（令和元年）

総額5兆4,446億円

国民1人当たりでは約43,172円

●市区町村のゴミ処理費用（令和元年）

総額2兆4,886億円

国民1人当たりでは約19,728円

●国民医療費の公費負担額（令和元年）

総額16兆4,991億円

国民1人当たりでは約130,794円

税金ひとメモ

昔はどのように税を納めていたのでしょうか？

～室町・安土桃山・江戸時代～
田畑の「作物」が税として納められていました。これらの「年貢（ねんぐ）」は多くの場合、米で納めました。たとえば、豊臣秀吉は米などの収穫高だけでなく、農地の面積などを調べて年貢を納めさせました（太閤検地）。
～明治・大正・昭和・平成・令和～
明治6年（1873年）から実施された地租改正により、年貢を中心とした税のしくみから、すべてお金で納めるしくみに変わりました。たとえば、持っている土地の値段や、個人や会社の利益に対して税金がかけられます。

年組

名前

公益社団法人 四谷法人会・青年部会